# 火災情報伝達システム　Ver.2.0

## 取扱説明書

2008/03/25

# 目次

# 携帯メール宛火災情報伝達ソフトウェア 使用許諾書

---

**第1条 （目的及び定義）**
1. 本使用許諾書は、消防研究センターと携帯メール宛火災情報伝達ソフトウェアの利用者（以下「ソフトウェア利用者」という。）との間の本ソフトウェアに関する使用許諾等について定めます。

2. 本使用許諾書において、次の各号に掲げる用語の定義は、当該各号の定めるところによります。
（1）「本ソフトウェア」 本使用許諾書に基づき消防研究センターがソフトウェア利用者に対して提供する「携帯メール宛火災情報伝達ソフトウェア」、及び「取扱説明書」をいいます。
本ソフトウェアは、ソフトウェア利用者が携帯電話に火災情報配信を行うためのものです。

（2）「取扱説明書」「携帯メール宛火災情報伝達ソフトウェア」以外の資料で、消防研究センターが携帯メール宛火災情報伝達ソフトウェアの利用に関連して提供するものをいいます。

（3）「ソフトウェア利用者」 携帯メール宛火災情報伝達ソフトウェアを利用する者であって、本使用許諾書に規定する全条項に同意したうえで本ソフトウェアを使用し、または使用しようとする者をいいます。

**第2条 （使用許諾）**
消防研究センターは、ソフトウェア利用者に対し、次の各号に掲げる事項に関し、本ソフトウェアの非独占的かつ無償の使用を許諾します。

（1） 本ソフトウェアを対象機器（取扱説明書に規定する環境条件に適合するコンピューターをいう。以下同じ。）にインストールして、対象機器上で本ソフトウェアを使用すること

（2） 自然人たるソフトウェア利用者の個人的使用または法人たるソフトウェア利用者の法人組織内部での使用の目的で、本ソフトウェア又は取扱説明書を複製すること

**第3条 （著作権）**
1. 本ソフトウェアの著作権は、消防研究センターが保有しており、日本およびその他の国の著作権法ならびに関連する条約によって保護されています。

2. 本ソフトウェアには、消防研究センターに対するライセンス供与者（以下「供与者」という。）が権利を保有するソフトウェアが含まれています。

3. 本ソフトウェアはソフトウェア利用者に対し、本使用許諾書に従い、非独占的に使用許諾されるもので、本ソフトウェアの著作権が譲渡されることはありません

**第4条 （使用制限）**
1. ソフトウェア利用者は、本ソフトウェアを第2条で規定する使用許諾内容の範囲内でのみ使用するものとします。

2. ソフトウェア利用者は、本ソフトウェアを第三者に譲渡、使用許諾その他の方法で使用させてはならないものとします。

3. ソフトウェア利用者は、本ソフトウェアの全部又は一部について、リバースエンジニアリングにより解析を行ってはならないものとします。

4. ソフトウェア利用者は本ソフトウェアに表示された著作権表示を削除してはならないものとします。

**第5条 （保証の拒絶及び免責）**
1. 本ソフトウェアはソフトウェア利用者に対して現状で提供されるものであり、消防研究センター及び供与者は、本ソフトウェアにプログラミング上の誤りその他瑕疵のないこと、本ソフトウェアが特定目的に適合すること並びに本ソフトウェア及びその使用がソフトウェア利用者またはソフトウェア利用者以外の第三者の権利を侵害するものでないこと、その他のいかなる内容についての保証も行うものではありません。本ソフトウェアに関して発生するいかなる問題も、ソフトウェア利用者の責任および費用負担により解決されるものとします。

2. 消防研究センター及び供与者は本ソフトウェアの改修、保守その他のいかなる義務も負いません。また、本ソフトウェアの使用に起因してソフトウェア利用者に生じた損害または第三者からの請求に基づくソフトウェア利用者の損害について、原因のいかんを問わず、一切の責任を負いません。

**第6条 （改訂版または後継版の提供）**
1. 消防研究センターは、任意に本ソフトウェアの改訂版または後継版を使用可能とすることができます。

2. ソフトウェア利用者は、本ソフトウェアの改訂版または後継版が使用可能とされたときは、速やかに本ソフトウェアの使用を改訂版または後継版の使用に変更するものとします。

3. 本ソフトウェアの改訂版または後継版が使用可能とされたときは、本使用許諾書に規定する条件は、本ソフトウェアの改訂版または後継版の使用許諾の条件として適用するものとします。

**第7条 （期間及び解約）**
1. 本使用許諾書に基づく消防研究センターとソフトウェア利用者との間の本ソフトウェアに係る使用許諾の効力は、ソフトウェア利用者が本ソフトウェアをダウンロードし、またはソフトウェア利用者のハードウェアにインストールした時点に開始し、ソフトウェア利用者が本ソフトウェアの使用を終了し、対象機器から本ソフトウェアを消去または削除しない限り有効に存続するものとします。

2. ソフトウェア利用者が本使用許諾書のいずれかの条項に違反したときは、消防研究センターは、ソフトウェア利用者に対し何らの通知、催告を行うことなく、直ちに本使用許諾を終了させることができます。

**第8条 （契約終了時の義務）**
ソフトウェア利用者は、本使用許諾が終了したときには、直ちに対象機器から本ソフトウェア及びその複製物を破棄または消防研究センターに返還するものとします。

**第9条 （変更）**
1. 消防研究センターは、必要があると認めるときは、ソフトウェア利用者に対する事前の通知を行うことなく、いつでも本使用許諾書に規定する条項を変更し、または新たな条項を追加することができます。
2. 前項による本使用許諾書に規定する条件の変更後に、ソフトウェア利用者が本ソフトウェアの使用を継続するときは、ソフトウェア利用者は、変更または追加後の条項に同意したものとみなされます。

**第１０条 （輸出管理）**
ソフトウェア利用者は、本ソフトウェア及びそれに含まれる技術を海外に持ち出しまたは非居住者に提供する場合は、経済産業大臣の輸出許可を取得するなど、関連法規に基づき適正な手続をとるものとします。

**第１１条 （管轄裁判所）**
本許諾契約に関わる紛争の第一審の専属的管轄裁判所は、消防研究センター所在地の管轄裁判所とします。

**第１２条 （協議）**
本使用許諾に定めのない事項その他本使用許諾の条項に関し疑義を生じたときは、消防研究センターとソフトウェア利用者が協議のうえ円満に解決を図るものとします。

以上

# 初期設定

初期設定画面では、以下の情報を設定します。

| | |
|---|---|
| ・施設名称 | 送信メール内に記述される施設名称を設定します。 |
| ・送信サーバ | メール送信の際、使用するメールサーバを設定します。 |
| ・送信元アドレス | 送信元アドレスとして使用するメールアドレスを設定します。 |
| ・認証設定 | 使用する「送信サーバ」に認証が必要な場合に、認証方式を選択します。<br>また、認証なし以外を選択した場合には、下記の設定が必要になります。 |
| 受信サーバ | POP before SMTP を選択した場合に、受信サーバを設定します。 |
| ユーザー名 | 送信元アドレスでメール送信する際の、ユーザー名を設定します。 |
| パスワード | 送信元アドレスでメール送信する際の、パスワードを設定します。 |

### 初期設定の手順

1. **タスクトレイアイコンを右クリックし、メニューを表示させます。**

2. ポップアップメニューから、「初期設定」を選択します。

3. 初期設定情報の入力

1）名称 －『ホテル名』
宿泊者にお知らせするホテル名を入力します。

2）送信設定 －『送信サーバ』情報入力
ご利用になっているプロバイダの SMTP サーバのアドレスを入力して下さい。
SMTP サーバのポート番号が 25 以外の場合は、SMTP サーバアドレスに続けて、:ポート番号を指定してください。（ 例　smtp.aaa.bbb.ne.jp:587 ）

3）送信設定 －『送信元アドレス』情報入力
本システムで送信元として使用するメールアドレスを入力して下さい。

4)認証設定
ご利用になっているプロバイダの設定を選択ください。
「認証なし」、「AUTH LOGIN」、「AUTH CRAM-MD5」、「AUTH PLAIN」、「POP before SMTP」の 5 つから選択。
『受信サーバ』、『ユーザー名』、『パスワード』は認証タイプによります。
必要情報を入力ください。

注 1:プロバイダにより、送信サーバや、認証設定は異なります。
ご利用の Outlook Express 等のメーラー設定を参照ください。

## 4. 初期設定情報の登録

1)「OK」ボタンをクリックすることで、入力情報が登録できます。
登録が完了すると、デスクトップ画面に戻ります。

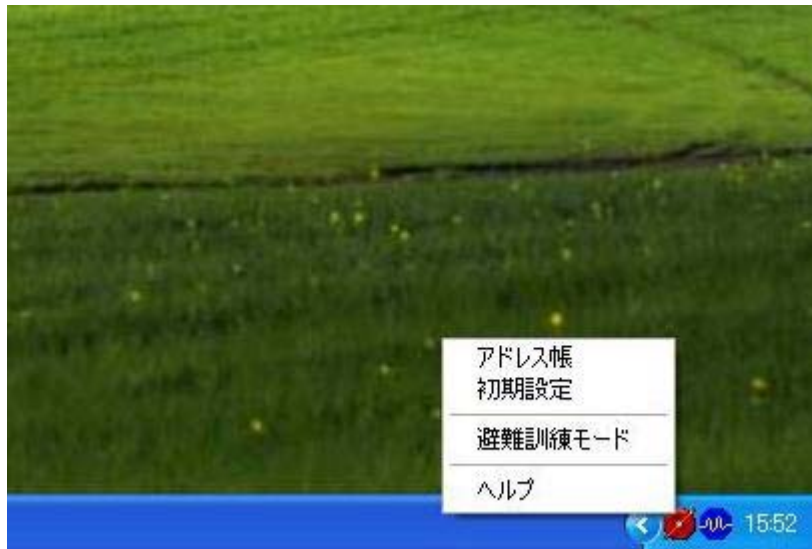
入力内容が正しくない場合には、初期設定画面が再度表示されます。
登録情報を確認し、入力内容が正しい事を確認して下さい。

2)「キャンセル」ボタンをクリックした場合には、入力情報を登録せずに、デスクトップ画面に戻ります。

# アドレス帳 － 登録

「アドレス帳画面 － 登録」では、メール送信先情報の登録ができます。

**アドレス帳 －「登録」の手順**

1. **タスクトレイアイコンを右クリックし、メニューを表示させます。**

2. **ポップアップメニューから、「アドレス帳」を選択します。**

3. アドレス帳画面から、「登録」ボタンをクリック

4. メール送信先情報の入力

1)『氏名』
　宿泊者の氏名を入力します。

2)『メールアドレス』
　宿泊者の携帯電話メールアドレスを入力します。

3)『部屋番号』
　宿泊者のアドレス情報を入力します。

4)『チェックイン』、『チェックアウト』
　宿泊者のチェックイン日と、チェックアウト日時を選択します。

※『チェックイン』－　パソコンの現在の日付、時刻より、現在の日付
『チェックアウト』－　チェックインと同様に、翌日　10 時 00 分　が初期値として表示されます。

※チェックアウト時刻は 30 分単位での設定が可能です。

## 5.　メール送信先情報の登録

1)「OK」ボタンをクリックすることで、入力情報が登録できます。
登録が完了すると、アドレス帳画面に戻り、アドレス帳に登録されます。

入力内容が正しくない場合には、「アドレス帳　入力エラー」メッセージが表示されます。
「OK」ボタンをクリックし登録情報を確認し、入力内容が正しい事を確認して下さい。

2)「キャンセル」ボタンをクリックした場合には、入力情報を登録せずに、
アドレス帳画面に戻ります。

## アドレス帳画面を閉じる

アドレス帳画面で をクリックすると、デスクトップ画面に戻ります。

# アドレス帳 – 編集

「アドレス帳画面 – 編集」では、メール送信先情報の編集ができます。

**アドレス帳 –「編集」の手順**

1. **タスクトレイアイコンを右クリックし、メニューを表示させます。**

2. **ポップアップメニューから、「アドレス帳」を選択します。**

3. 登録リストから編集を行いたい宿泊者情報をマウスで選択します。

※この時、選択された宿泊者情報が青色反転表示になります。

4. アドレス帳画面から、「編集」ボタンをクリック

※登録リストを選択せずに「編集」ボタンをクリックすると
『項目が選択されていません。項目を選択してください。』というエラーメッセージが表示されます。
「OK」ボタンをクリックし、再度、登録リストを選択してから「編集」ボタンをクリックします。

5. メール送信先情報の編集

『氏名』、『メールアドレス』、『部屋番号』、『チェックイン』、『チェックアウト』項目が編集可能です。

※チェックアウト時刻は 30 分単位での設定が可能です。

6. 編集情報の登録

1)「OK」ボタンをクリックすることで、入力情報が登録できます。
登録が完了すると、アドレス帳画面に戻り、アドレス帳に登録されます。

入力内容が正しくない場合には、「アドレス帳 入力エラー」メッセージが表示されます。
「OK」ボタンをクリックし登録情報を確認し、入力内容が正しい事を確認して下さい。

2)「キャンセル」ボタンをクリックした場合には、入力情報を登録せずに、
アドレス帳画面に戻ります。

7. アドレス帳画面で編集内容が更新されたことを確認します。

## アドレス帳画面を閉じる

アドレス帳画面で をクリックすると、デスクトップ画面に戻ります。

# アドレス帳 – 削除

「アドレス帳画面 – 削除」では、メール送信先情報の削除ができます。

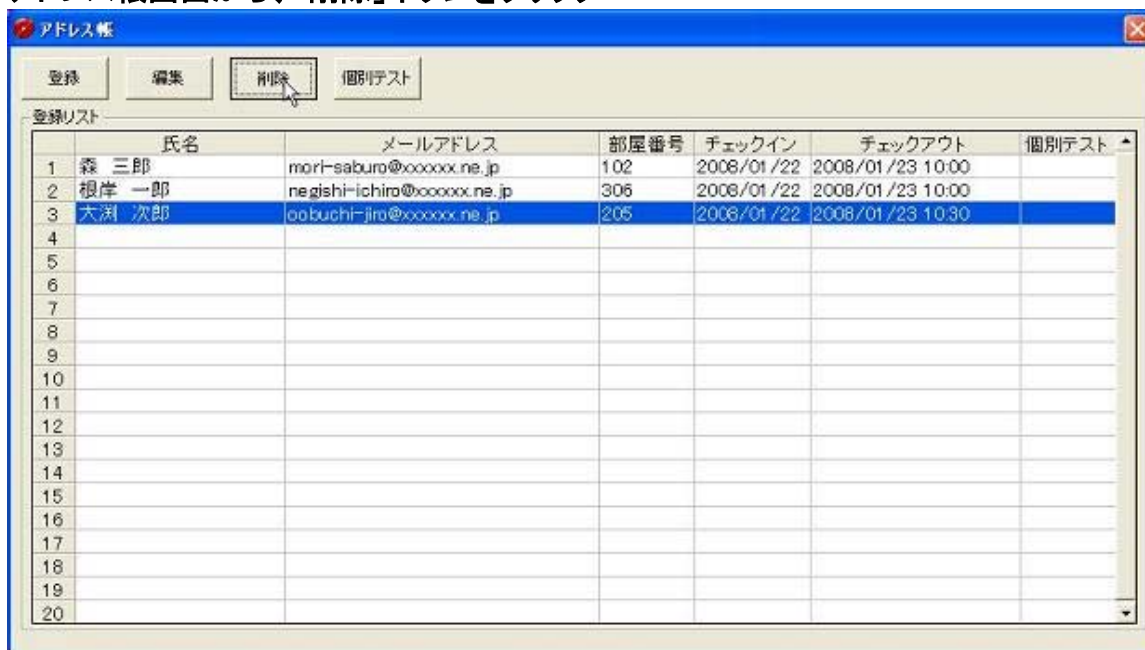
**アドレス帳 –「削除」の手順**

1. **タスクトレイアイコンを右クリックし、メニューを表示させます。**

2. **ポップアップメニューから、「アドレス帳」を選択します。**

3. 登録リストから削除したい宿泊者情報をマウスで選択します。

※この時、選択された宿泊者情報が青色反転表示になります。

4. アドレス帳画面から、「削除」ボタンをクリック

※登録リストを選択せずに「削除」ボタンをクリックすると
『項目が選択されていません。項目を選択してください。』というエラーメッセージが表示されます。
「OK」ボタンをクリックし、再度、登録リストを選択してから「削除」ボタンをクリックします。

5. **削除確認メッセージ**

1)「はい」ボタンをクリックすることで、アドレス帳から選択項目が削除されます。
削除が完了すると、アドレス帳画面に戻ります。

2)「いいえ」ボタンをクリックした場合には、選択項目を削除せずに、
アドレス帳画面に戻ります。

**アドレス帳画面を閉じる**

アドレス帳画面で☒をクリックすると、デスクトップ画面に戻ります

# アドレス帳 – 個別テスト

「アドレス帳画面 – 個別テスト」では、登録されたメール送信先への送信テストができます。

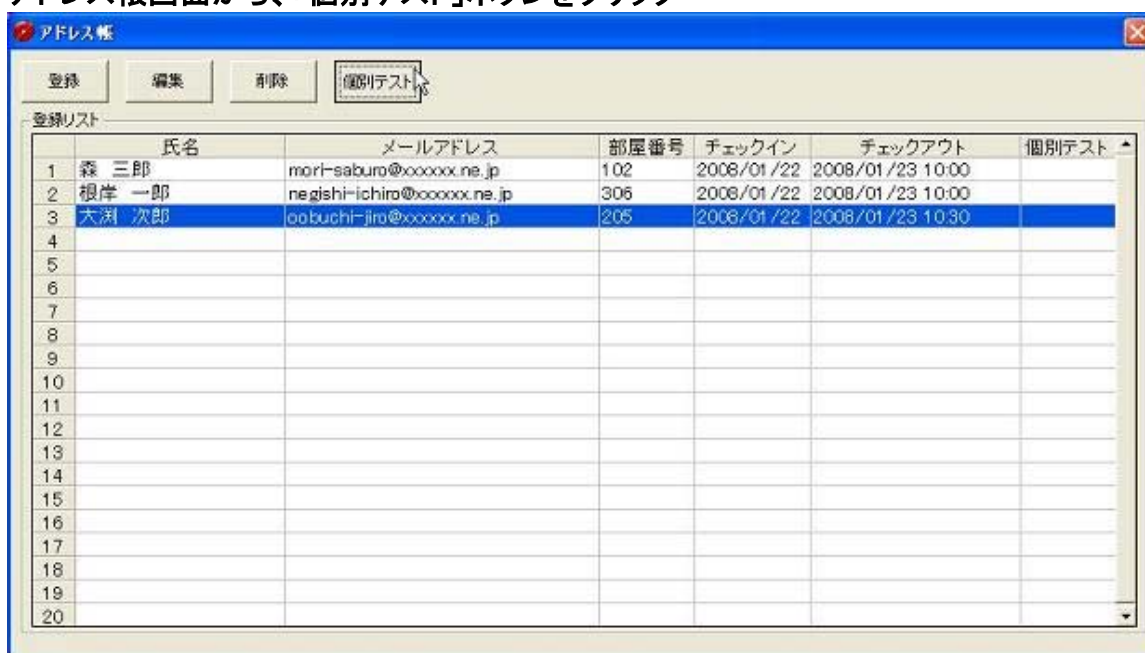
**アドレス帳 –「個別テスト」の手順**

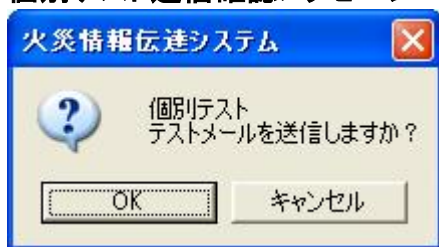
1. **タスクトレイアイコンを右クリックし、メニューを表示させます。**

2. **ポップアップメニューから、「アドレス帳」を選択します。**

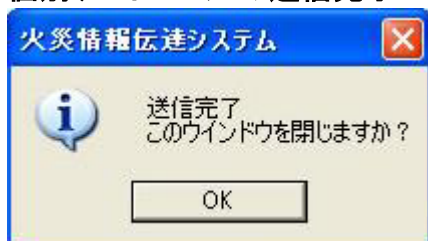
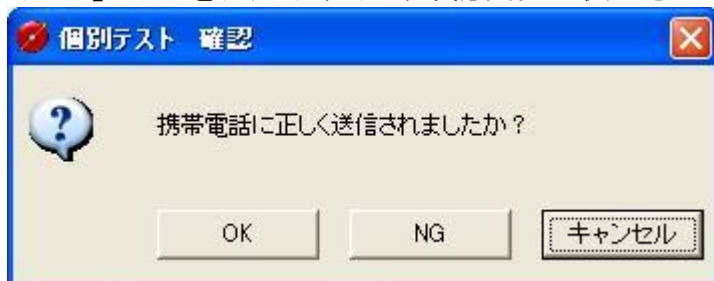
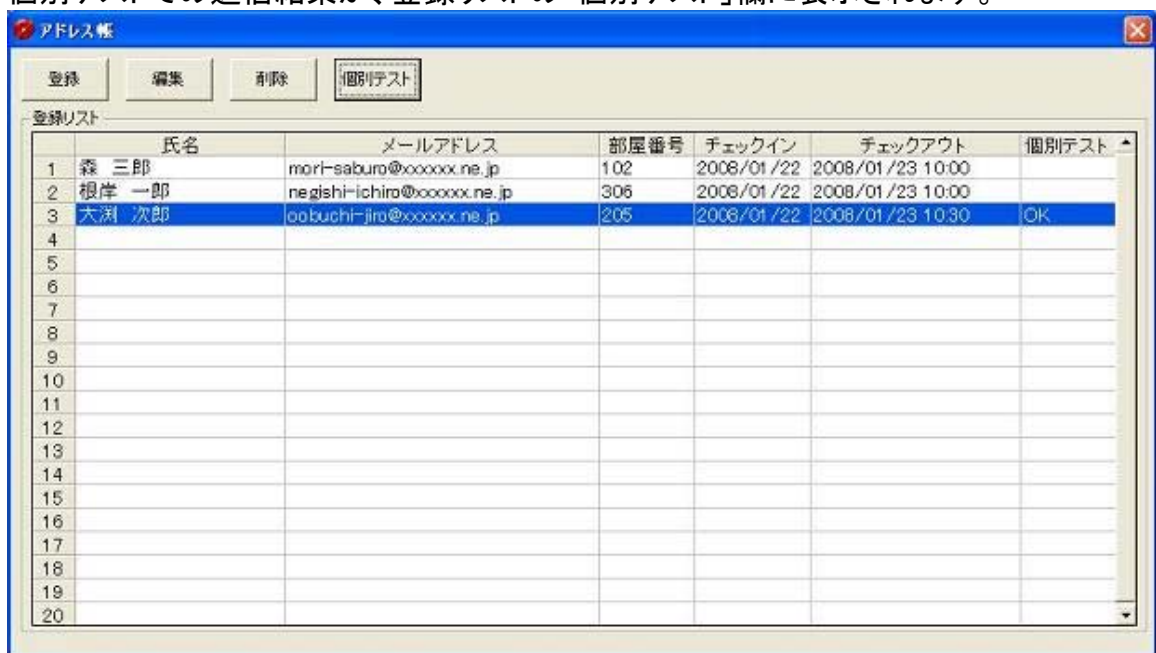
3. 登録リストからテスト送信したい宿泊者情報をマウスで選択します。

※この時、選択された宿泊者情報が青色反転表示になります。

4. アドレス帳画面から、「個別テスト」ボタンをクリック

※登録リストを選択せずに「個別テスト」ボタンをクリックすると
『項目が選択されていません。項目を選択してください。』というエラーメッセージが表示されます。
「OK」ボタンをクリックし、再度、登録リストを選択してから「個別テスト」ボタンをクリックします。

## 5. 個別テスト送信確認メッセージ

1)「OK」ボタンをクリックすると、『個別テスト メール送信中』のメッセージが表示されます。

2)「キャンセル」ボタンまたは☒クリックした場合には、アドレス帳画面に戻ります。

## 6. 個別テストメールの送信完了

1)「OK」ボタンをクリックすると、確認画面が表示されます。

2)送信先の携帯電話でメール受信を確認し、受信結果に応じて
「OK」、「NG」、「キャンセル」ボタンをクリックします。

・正常受信 － 「OK」ボタンをクリックします。
・受信異常 － 「NG」ボタンをクリックします。
・テスト中止 － 「キャンセル」ボタンをクリックします。

**※正常に送信完了できなかった場合には、「メール送信が失敗した場合には」を参照下さい。**

## 7. 送信結果の確認

個別テストでの送信結果が、登録リストの「個別テスト」欄に表示されます。

## アドレス帳画面を閉じる

アドレス帳画面で をクリックすると、デスクトップ画面に戻ります

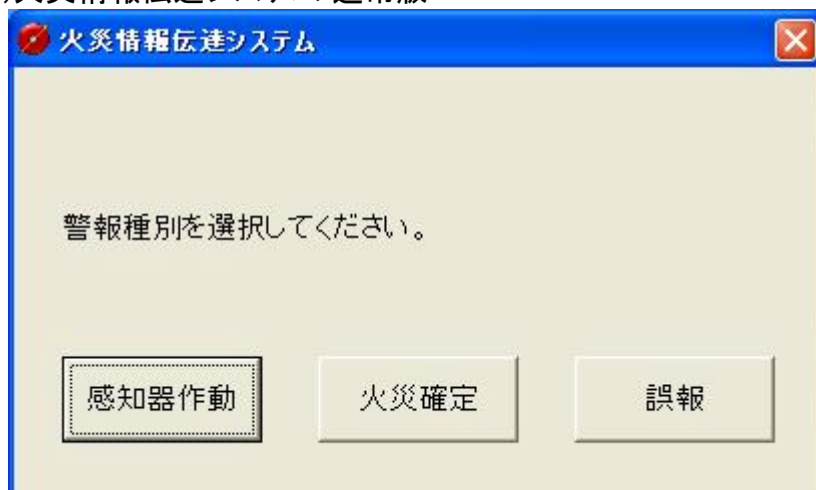
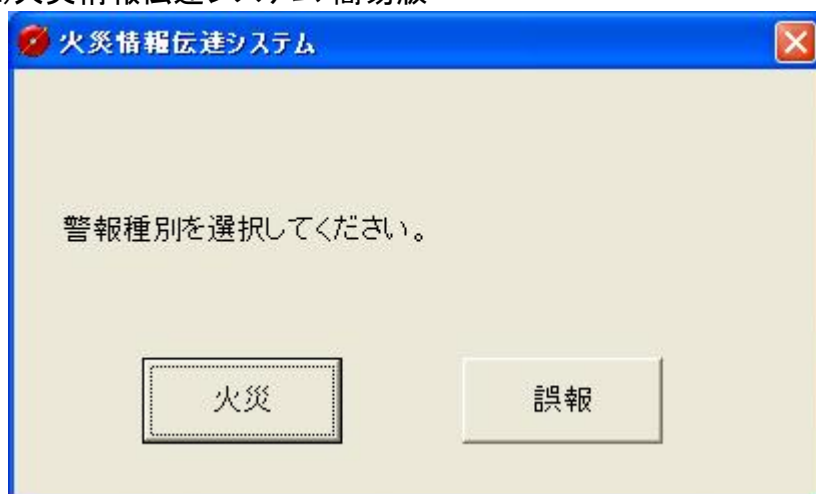
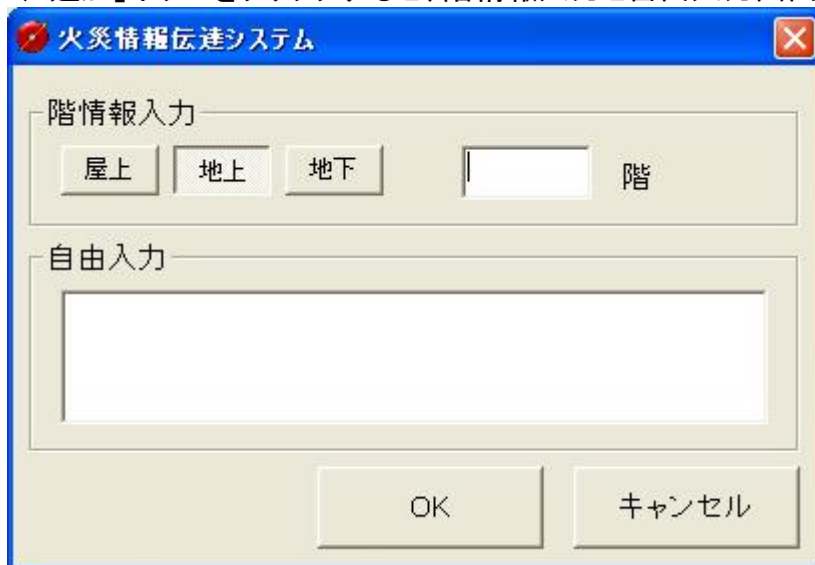
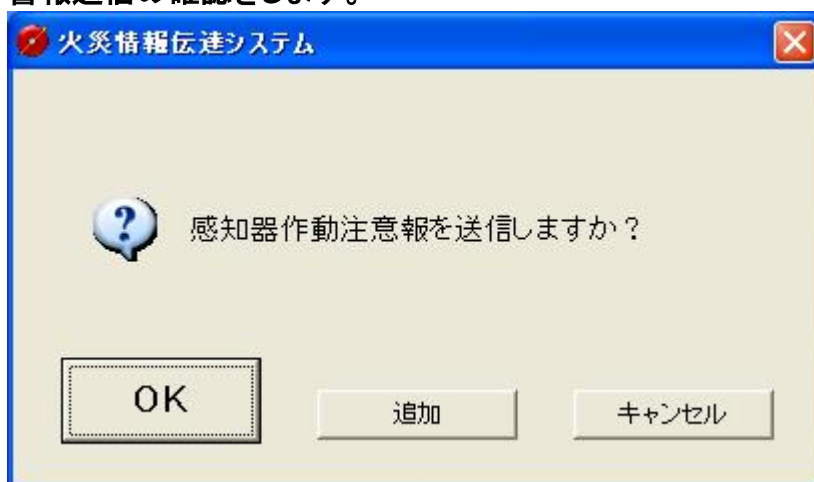
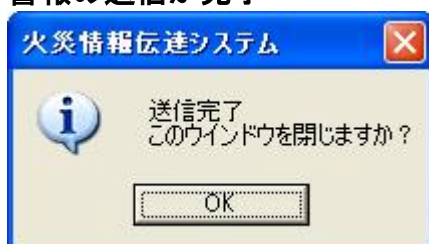
# 警報メール送信

火災情報伝達システムは、通常版と、簡易版の 2 種類があります。
通常版と簡易版では、送信できる警報種別の数が異なります。

## 警報メール送信の手順

1. デスクトップ上のアイコンをダブルクリックします。

2. 警報種別を選択します。

1)火災情報伝達システム 通常版

2)火災情報伝達システム 簡易版

※以降の説明は、感知器作動注意報の場合を例とします。

3.　警報送信の確認をします。

1)「OK」ボタンをクリックすると、『感知器作動注意報　メール送信中』のメッセージが表示されます。

2)「追加」ボタンをクリックすると、階情報入力と自由入力画面を表示します。

入力方法は、「警報メール送信 – 階情報と自由入力」を参照下さい。

3)「キャンセル」ボタンまたは☒クリックした場合には、アドレス帳画面に戻ります。

4. **警報の送信が完了**

「OK」ボタンをクリックすると、デスクトップ画面に戻ります。

**※正常に送信完了できなかった場合には、「メール送信が失敗した場合には」を参照下さい。**

# 避難訓練モード

避難訓練モードを使用すると、実際の操作と同じ操作で、避難訓練用の警報メールの送信を行うことができます。

送信の手順は、「警報メール送信」を参照下さい。

**避難訓練モードの設定手順**

1. **タスクトレイアイコンを右クリックし、メニューを表示させます。**

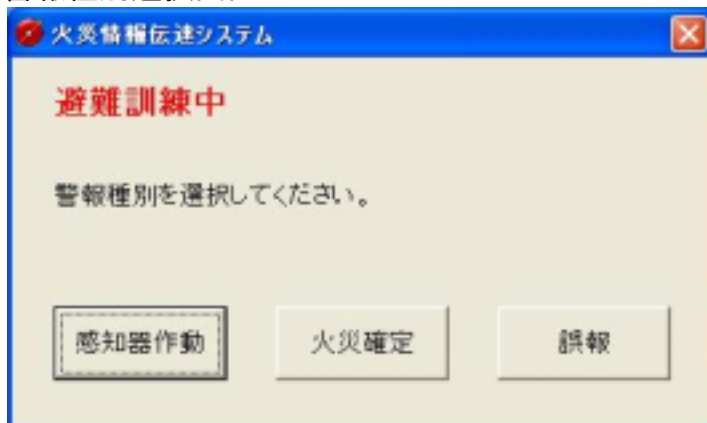
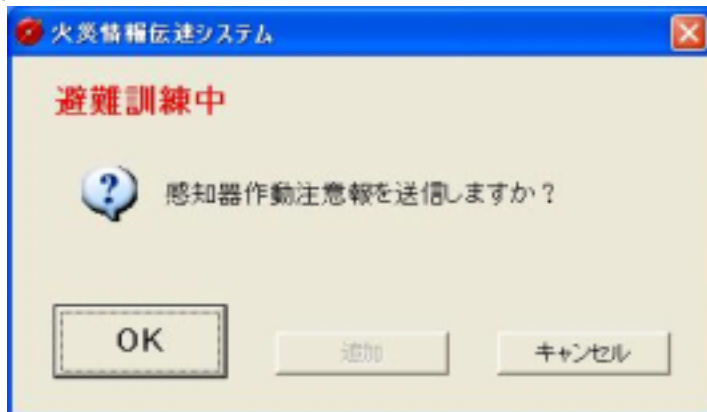
2. **ポップアップメニューから、「避難訓練モード」を選択します。**

3. 「避難訓練モード」の項目にチェックマークが付きます。

※避難訓練モードにチェックマークがついている間のメール送信は、避難訓練用のメッセージになります。

## 避難訓練モード中の画面表示

避難訓練モード中は、メール送信時の画面に「避難訓練中」が表示されます。

1）警報種別選択画面

2）警報送信確認画面

3)メール送信中画面

## 避難訓練モードの解除手順

1. タスクトレイアイコンを右クリックし、メニューを表示させます。

2. ポップアップメニューから、「避難訓練モード」を選択します。

3. 「避難訓練モード」の項目にチェックマークが解除されます。

※避難訓練モードにチェックマークを解除すると、以降のメール送信は、通常の警報メッセージになります。

**上記の避難訓練モードの解除操作を行わず、パソコンを再起動した場合には、避難訓練モードは解除されます。**

# 送信メッセージ イメージ

### 3種メール発信システム

#### 感知器作動注意報

受信メール
日時 2007/ 9/ 1 10:00
From ○○@○○. ne. jp
To ○○@○○. ne. jp
主題 感知器作動注意報

火災感知器が作動。確認中ですので、
次の情報にご注意ください。

なお、作動階 地上1階

落ち着いて下さい。

09月01日 10時00分
○○ホテル
※本メールは火災警報専用ですので
返信しないで下さい。

#### 火災確定警報

受信メール
日時 2007/ 9/ 1 10:00
From ○○@○○. ne. jp
To ○○@○○. ne. jp
主題 火災確定警報

火災発生
落ち着いて避難して下さい。

なお、出火階 地上1階

落ち着いて下さい。

09月01日 10時00分
○○ホテル
※本メールは火災警報専用ですので
返信しないで下さい。

#### 誤報情報

受信メール
日時 2007/ 9/ 1 10:00
From ○○@○○. ne. jp
To ○○@○○. ne. jp
主題 誤報情報

火災感知器の作動は、確認の結果、異
常なし。ご安心ください。

09月01日 10時00分
○○ホテル
※本メールは火災警報専用ですので
返信しないで下さい。

#### 個別テスト

受信メール
日時 2007/ 9/ 1 10:00
From ○○@○○. ne. jp
To ○○@○○. ne. jp
主題 個別テスト

テストメールです。

09月01日 10時00分
○○ホテル
※本メールは火災警報専用ですので
返信しないで下さい。

避難訓練 感知器作動注意報　　避難訓練 火災確定警報　　避難訓練 誤報情報

受信メール
日時　2007/ 9/ 1　10:00
From　〇〇@〇〇. ne. jp
To　〇〇@〇〇. ne. jp
主題　避難訓練　感知器作動注意報

感知器作動のテストメールです。

09月01日　10時00分
〇〇ホテル
※本メールは火災警報専用ですので
返信しないで下さい。

受信メール
日時　2007/ 9/ 1　10:00
From　〇〇@〇〇. ne. jp
To　〇〇@〇〇. ne. jp
主題　避難訓練　火災確定警報

火災確定のテストメールです。

09月01日　10時00分
〇〇ホテル
※本メールは火災警報専用ですので
返信しないで下さい。

受信メール
日時　2007/ 9/ 1　10:00
From　〇〇@〇〇. ne. jp
To　〇〇@〇〇. ne. jp
主題　避難訓練　誤報情報

誤報情報のテストメールです。

09月01日　10時00分
〇〇ホテル
※本メールは火災警報専用ですので
返信しないで下さい。

## ２種メール発信システム

### 火災警報

受信メール
日時　2007/ 9/ 1　10:00
From　〇〇@〇〇. ne. jp
To　〇〇@〇〇. ne. jp
主題　火災警報

火災発生の危険性あり。
念のため避難してください。

なお、出火階 地上1階

落ち着いて下さい。

09月01日　10時00分
〇〇ホテル
※本メールは火災警報専用ですので
返信しないで下さい。

### 誤報情報

受信メール
日時　2007/ 9/ 1　10:00
From　〇〇@〇〇. ne. jp
To　〇〇@〇〇. ne. jp
主題　誤報情報

火災感知器の作動は、確認の結果、異
常なし。ご安心ください。

09月01日　10時00分
〇〇ホテル
※本メールは火災警報専用ですので
返信しないで下さい。

### 個別テスト

受信メール
日時　2007/ 9/ 1　10:00
From　〇〇@〇〇. ne. jp
To　〇〇@〇〇. ne. jp
主題　個別テスト

テストメールです。

09月01日　10時00分
〇〇ホテル
※本メールは火災警報専用ですので
返信しないで下さい。

### 避難訓練　火災警報

受信メール
日時　2007/ 9/ 1　10:00
From　〇〇@〇〇. ne. jp
To　〇〇@〇〇. ne. jp
主題　避難訓練　火災確定警報

火災発生のテストメールです。

09月01日　10時00分
〇〇ホテル
※本メールは火災警報専用ですので
返信しないで下さい。

### 避難訓練 誤報情報

受信メール
日時　2007/ 9/ 1　10:00
From　〇〇@〇〇. ne. jp
To　〇〇@〇〇. ne. jp
主題　避難訓練　誤報情報

誤報情報のテストメールです。

09月01日　10時00分
〇〇ホテル
※本メールは火災警報専用ですので
返信しないで下さい。

# ご使用上の注意事項

---

1. **以下の場合にも、本システムからメールが送信されます。**

   本システムでは、アドレス帳にご登録いただいているお客様を対象にメールを送信します。
   その為、以下の場合にも、本システムからメールが送信されます。
   ・ご予約を受けた時に、アドレス帳に登録を行った。
   （チェックイン前にアドレス帳に登録した場合）
   ・チェックアウト後も、アドレス帳から削除されていない。
   （チェックイン後にもアドレス帳に登録が残っている状態）

2. **以下の場合は火災警報メールが送信されない場合があります。**

   本システムでは、インターネットの常時接続を使用し、メールを送信する仕組みです。
   その為、以下の場合に、メールが送信されない場合があります。
   ・Outlook 等のメールソフトを使用して送受信が重なってしまった。
   ※本システム使用時には、パソコンのメールソフトは必ず終了してからご利用下さい。
   ・ご利用のプロバイダのシステムまたは回線に不具合が発生している。
   ・お客様のご利用プロバイダのシステムに不具合が発生している。

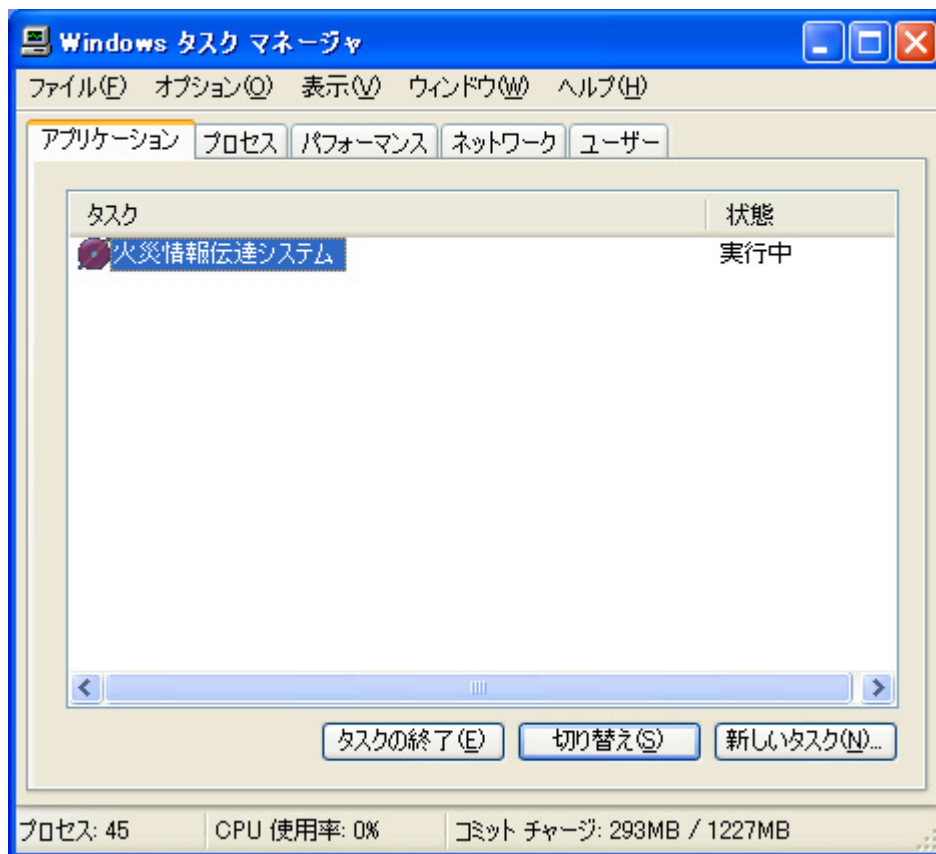
   ・携帯電話のメールアドレスに、「.」（ピリオド）をアドレス内で連続使用していたり、アドレスの最後に使用している。

## 火災情報伝達システムのアンインストール

1. **タスクの終了**
   1） Ctrl＋Shift＋Del キーを同時に押しタスクマネージャを起動します。

   2） アプリケーションタブ内のタスク一覧から、
   **火災情報伝達システム**を選択し、「タスクの終了(E)」ボタンをクリックします。

   3） 画面から**火災情報伝達システム**が消えます。

   4） をクリックし、タスクマネージャを終了します。

2. **プログラムの削除**

1)「スタート」から「コントロールパネル」を選びます。

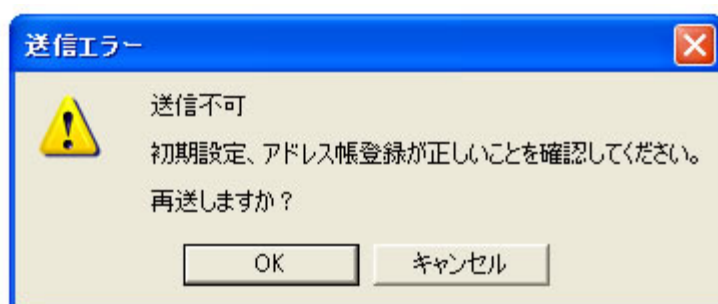
2)「プログラムの追加と削除」を選びます。

3)「プログラムの変更と削除」を選び「削除」ボタンをクリックします。

4)「火災情報伝達システム」を選び「削除」ボタンをクリックします。

注）インストール先フォルダを直接削除することはできません。

# メール送信が失敗した場合には

メールの送信が失敗した場合には以下の確認画面が表示されます。

**送信エラー時の再送**

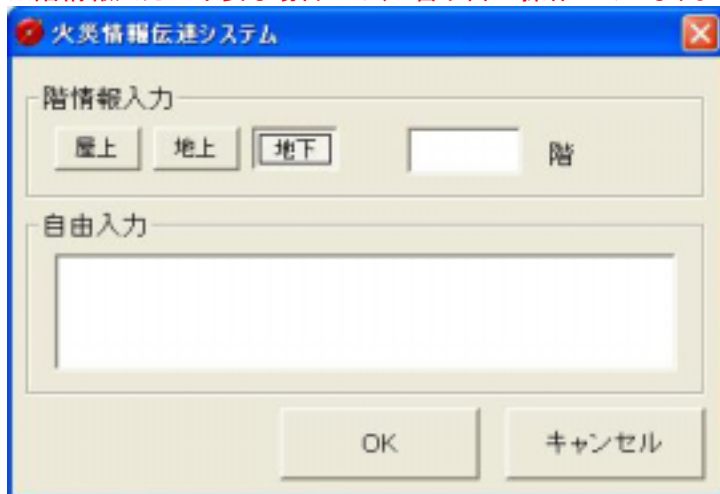
1. 「OK」ボタンをクリックすると、現在の初期設定、アドレス帳のデータで
   送信を再度行います。
2. 「キャンセル」ボタンまたはクリックすると、送信を中断します。
   現在の初期設定、アドレス帳のデータが正しく登録されていることを確認し、
   再度、メール送信操作を行って下さい。

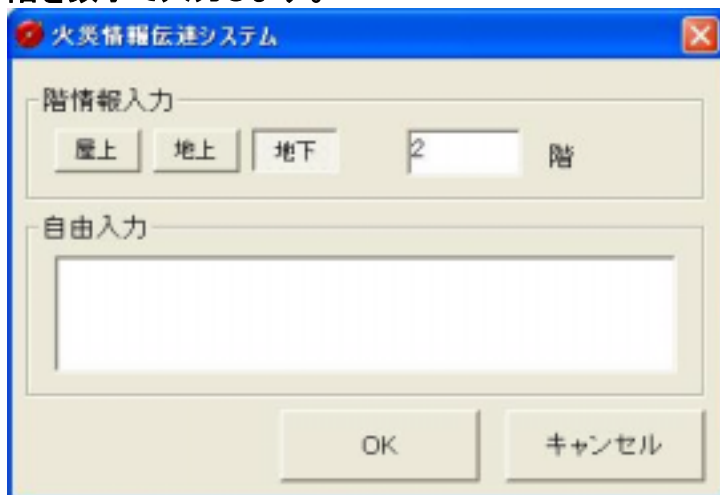
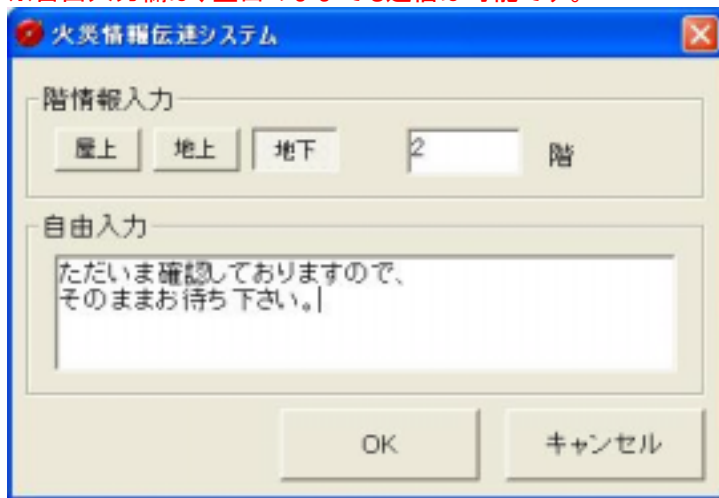
   但し、初期設定やアドレス帳のデータが正しく、また、パソコン上で別のメーラーが終了されている場合には、プロバイダのメールサーバや、インターネット回線の不具合の可能性があります。

   その場合には、早急に他の方法で情報の伝達を行ってください。

# 警報メール送信 – 階情報と自由入力

警報送信確認画面で、「追加」ボタンをクリックすると、「階情報入力」と、「自由入力」を行う画面が表示されます。

この画面で入力したメッセージを警報メールに付加して送ることができます。
※階情報入力、自由入力は任意であり、入力を行わなくても送信は可能です。
また、階情報入力、自由入力どちらか一方のみの入力も可能です。

### 階情報、自由入力の手順

1. 階情報入力欄から「屋上(*1)」、「地上(*2)」、「地下」から該当するボタン1つをクリックします。
   ※階情報入力が不要な場合には、3番以降の操作のみとなります。

*1 「屋上」ボタンを選択した際には、右側の階入力はできません。
*2 初期の状態では、「地上」ボタンが選択状態となっています。

2. 階を数字で入力します。

3. **自由入力欄に、追加情報などを入力します。**
※自由入力欄は、空白のままでも送信は可能です。

4. 「OK」または、「キャンセル」ボタンをクリックします。

1)「OK」ボタンをクリックすると、入力した階情報、自由入力の内容をメッセージに追加し、警報送信確認画面に戻ります。
2)「キャンセル」ボタンをクリックすると、入力した階情報、自由入力の内容をメッセージに追加せずに、警報送信確認画面に戻ります。